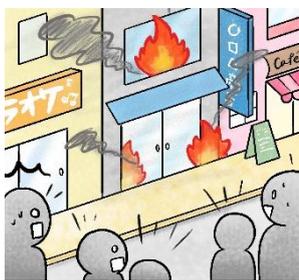


ChatGPT など生成AI の進化によって今年は多くの方が「人類とAI」について考えたようです。人間の頭脳労働を精密機械に置き換えていくと何が起るのか。世の中の大きな流れを眺めつつ足元を固めていくバランス感覚が、仕事でも暮らしでも大事になりそうです。今年もお疲れさまでした。良いお年をお迎えください。

知っどこ! 「税」のマメ知識

今月のマメ知識:【火災保険金に関する税金の取り扱い】

万が一のときのために個人で火災保険に加入している家庭も多いと思います。不幸にも火災が発生してしまった場合、支払われる保険金は損害を埋め合わせる資金であるため、所得税法では非課税とされています。



た支払われた保険金が実際の損害額よりも少なく、その保険金だけで損害の全てを補うことができなかった場合は「雑損控除」として確定申告をすれば、税金が還付されることもあります。しかしながら個人が小売業などの事業を営んでいる場合、例えばその店舗において火災が発生して商品等が消失し保険金を受け取った場合には、その保険金は事業収入として計上しなければなりません。つまりその保険金は、税金の申告対象となるのです。一方、法人契約の火災保険の場合、例えば不動産賃貸業などを営んでいる会社の建物が、火災に遭った際に支払われる保険金は、全て課税の対象となります。このように契約形態の違いなどによって、支払われる保険金に関する税金の取り扱いもさまざまとなります。

意外に知らない 暦の話

来る1月6日は「まくらの日」。1をピンの「ピ」、6を「ロー」と読んで「ピロー」(pillow=枕)の語呂合わせから、寝具睡眠グッズの企画開発や販売を展開する「まくら株式会社」が制定しました。プロスポーツ選手が「こだわり」の寝具を紹介し「翌日のパフォーマンスを上げるために快適な睡眠がいかに大切か」を力説するインタビューをご覧になったことのある方もいらっしゃるのでは? 研究競争の激しい寝具業界で、枕もご多分に漏れず進化を続けています。自宅に居ながらにしてインターネットを通じて質問に回答すると、AIが何十万通りの中から自分に合ったオーダーメイド枕を提案してくれるサービスも登場しています! 1日平均8時間、つまり人生の3分の1を占める睡眠時間。生活の質と健康に直結するからこそ、記念日を前に、この年末年始で枕を見直してみませんか。もしかすると自身にフィットした枕で見る初夢は、すてきなものになるかもしれませんよ。

世界の偉人伝

今月の偉人:【ピカソ】

パブロ・ピカソはスペイン出身の芸術家で、フランスを拠点に活動した20世紀最大の巨匠です。絵画の他、彫刻や版画など14万点以上を制作し、多作な美術家としてギネスブックに記されています。「アヴィニヨンの娘たち」「ゲルニカ」など世界的な傑作を数多く残しました。作風の変化はめまぐるしく「青の時代」や「キュビズムの時代」など時代により大きく変貌を遂げています。「いかなる創造活動も、初めは破壊活動だ」の言葉どおり、自らの芸術を追求し続けた画家だったのです。

く乾かすコツです。部の屋下干しの洗濯物を早く乾かすには、洗濯物の下に一度くしやくしやにして広げ直した新聞紙を敷きます。新聞紙が余分な湿気を吸収して気になるニオイも取ってくれます。風通しの良い場所に干し、丈の長いものと短いものを交互に干すのも早く乾かすコツです。



才人の言葉

一歩踏み出せるなら
とうとう一歩も踏み出せる

アメリカのロッククライマーであるトッド・スキナーの言葉。何事も「最初の一歩」は勇気がある。だが、その一歩さえ出せれば次の一歩は意外と簡単に出来るものだ。

振り向けばあそこにも「商売のヒント」 ここにも

今月の商売のヒント：【奈良と鹿で商売繁盛！？】

イギリスのことわざに「馬を水辺に連れて行けても水を飲ませることはできない」があります。他人に対してチャンスを与えることはできても、それを実行するかどうかは本人のやる気次第という意味です。



しかしやる気を高めることは、不可能ではありません。例えば、社員にかけ言葉を変えるだけで驚くほど効果が上がることもあります。その言葉とは

「なら」と「しか」。この仕事は〇〇さん「なら」できる。この仕事は〇〇さん「しか」できない。この2つの言葉は相手に信頼感や期待感を与えます。言われた人は「自分の能力や責任を認められた」と感じて、やりがいや自信を持ちます。また自分だけが出来る仕事だと思えば、他人に負けたくないという競争心も芽生えます。これらの感情は、やる気を高める強力なモチベーターとなるでしょう。社員に対して「なら」と「しか」を徹底して使うようにした結果、みるみる業績が回復したというウソのような本当の話があります。ほかに「△△といえば〇〇さん」も人を動かす強力な言葉です。これは相手の専門性や独自性を認めたことになり、言われた人は「自分の特徴や強みをいかせる」と感じて、仕事に情熱や創造性を持つことでしょう。このように言葉を変えるだけで人をやる気にさせることができます。お金も時間もかかりません。ただし相手をよく観察する必要があります。社員の良いところをノートに記している経営者を知っていますが、それには1人につき20個以上の長所や強み、得意なことが書かれていました。彼の会社は業績も人材もトップクラス。人をやる気にさせる名人というわけですね。

ナットク! 気になっていたあの言葉

今月の気になっていたあの言葉：【ライドシェア】

一般のドライバーが自家用車を使って客を運ぶ有料のサービスのこと。日本では道路運送法により原則禁止となっているが、深刻化するタクシー不足を背景に解禁の議論が浮上してきた。アプリでドライバーと利用者のマッチングを行う「TNCサービス型」が主流で、配車や決済システムを手掛ける企業が注目されている。

トナりの本棚

【やさしさを忘れぬうちに】

映画化された川口俊和の人気小説シリーズ最新作。喫茶店のある席に座ると過去に戻ることができる。おいしいコーヒーを飲みながら楽しみたい一冊です。



元氣と氣づきを提供する
東京都豊島区池袋の佐藤茂税理士事務所

豊島区池袋2-60-7 ルート池袋第3ビル4階

電話：03-3988-8820 FAX：03-3988-8824

<http://www.satousigeru.jp>